

## お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。  
お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

### ●本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジで洗った後、水洗いしてください。  
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### ●せんユニット

せんユニットは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。  
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### ●パッキン

パッキンをせんやふたから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

## お手入れ上の注意

- 本体を洗ったあとは、すぐに水分を拭き取ってください。  
(水滴のあとが残ったり、サビやものを汚す原因となります。)
- シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾等は使用しないでください。  
(キズやサビ、故障の原因になります。)
- 本体やせんユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機等は使用しないでください。  
(変形や漏れの原因になります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(サビ、故障の原因になります。)
- 本体・せんユニットはつけ置き洗い等はしないでください。
- せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。  
お手入れの際はそれぞれ取り外した状態で行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

## ボトル内側にサビのような赤い斑点や、 ザラザラしたものが付着した場合には

### ●サビのような赤い斑点が出来た場合

水分に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。  
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

### ●ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず、3時間程放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

## パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。  
お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取り外したあとは、  
正しく取り付けてください。

### ●ふたパッキンの 取り付け方

凹凸の位置を合わせて  
取り付けてください。



### ●せんパッキンの取り付け方

せんパッキンのつまみ部分を上にして  
せんにはめ込んでください。  
指などで押し、浮いてないことを  
確かめてください。



パッキンは消耗品です。約1年間を目安にご確認ください。  
消耗のある場合は、お買い上げの販売店で品名、品番をお確かめのうえ、お買い求めください。

## 輸入販売元：株式会社 アトラス

〒192-0906 東京都八王子市北野町549-1 第2石坂ビル  
TEL.042-660-8870 <http://www.atlas-scm.jp/>

# 取扱説明書 Atlas

## ワンタッチダイレクトボトル

### ADW-500 / ADW-750



このたびは、当社のワンタッチダイレクトボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなった時、お役に立ちますので、いつでもみられるところに、大切に保管してください。

## ご使用前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損等はないか確認してからご使用ください。  
不具合があった場合、使用しないでください。

## ご使用方法

### 1. せんユニットをはずす



### 2. 飲みものを入れる

- \*あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。
- \*飲みものの量は、右写真➡部までにしてください。入れすぎるとせんユニットを閉めた時に中身があふれる場合があります。入れすぎた場合は、少量の飲みものを減らしてから、せんユニットを閉めてください。



### 3. せんユニットを閉める

せんユニットを矢印の方向にまわし、しっかりと閉めてください。

### 4. ふたを開けて飲みものを飲む

- ①本体を立てた状態でロックを上げる。
- ②プッシュボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。



### 5. 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、本体を立てふたを閉める。
- ②ロックを下げて、ロックする。



## 必ずお守りください

### ⚠ 警告

- 飲みものの保冷以外の用途に使用しないでください。
- せん・ふたは確実に閉めてからご使用ください。(内容物が漏れる恐れがあります。)
- 幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらには注意してください。(ケガなどの恐れがあります。)
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。(変形や変色、火災の原因になります。)
- 電子レンジで加熱しないでください。(ケガや事故・故障の原因になります。)
- 冷凍庫に入れないでください。(飲みものが漏れたり、故障や事故の原因になります。)
- 飲みものを入れて持ち運ぶ際は、せんユニットを上にした状態で移動してください。(横に倒したままでの移動は飲みものが漏れ、ものを汚す原因となります。)
- バックなどに入れる場合は、必ず漏れないことを確認した上で本体を縦置きにしてください。また、携帯電話・カメラなど精密機器等は、絶対にボトルと一緒に入れないでください。
- 製品の構造上、湿度が高いときにせんユニットに水滴がつく場合があります。ご注意ください。
- 飲みものの量は、口金の下の位置(2ページの2を参照)までにしてください。(入れすぎるとせんユニットを閉めるときにあふれて、ものを汚す原因になります。)
- 倒したり、落としたり、ぶつかけたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。(製品が破損する恐れがあります。)
- ぶつかけたり強い衝撃を与えると表面がへこみ、保冷効果が低下する事があります。(故障の原因になります。)
- 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。(故障や事故の原因になります。)
- 飲みものを入れておいた状態で長時間放置しないでください。(腐敗や変質の原因になります。)
- お茶などはお早めにお飲みください。(長時間保存するとお茶の色や味が変わります。)
- お茶・コーヒー・ジュースなどを入れて使用した後は必ずお手入れをしてください。(匂い移りする場合があります。)
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いてお入れください。(キズや漏れの原因となります。)
- 次の物は絶対に入れないでください。
  - ※ドライアイスや炭酸飲料等。(内圧が上がり、内容物が吹き出る恐れがあります。)
  - ※牛乳・乳製品・果汁等。(腐敗や変質の恐れがあります。)
  - ※味噌汁・スープ等の塩分を含んだもの。(さびの恐れがあります。)
  - ※果肉・お茶の葉等。(つまる、漏れるなどの原因となる恐れがあります。)

### ⚠ 注意

- 直射日光のあたる場所、自動車のトランク内など高温になる場所に放置しないでください。(保冷効果が落ちる原因になります。)
- 煮沸しないでください。(熱により変形し、漏れてものを汚す原因となります。)
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。(熱により変形し、漏れてものを汚す原因となります。)
- 本体のつけおき洗いはしないでください。(すきまに水が浸入して、漏れてものを汚したり、さびや保冷不良の原因となります。)
- シンナー・ベンジン・金属たわし・磨き粉・さらし粉・クレンザーは使用しないでください。(キズやさびなどの原因となります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(さびや故障の原因となります。)
- バックンはお手入れ後必ず取りつけてください。(正しく取り付けがされていないと内容物が漏れる恐れがあります。)
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管してください。

### ⚠ 警告

- 本製品は保冷専用です。熱いものは絶対に入れないでください。火傷の恐れがあり大変危険です。
- 炭酸飲料・ドライアイスを入れないでください。